

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	商店街にぎわい創出事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'01	1 人々が集まり、にぎわいと活気にあふれる街づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	中心街イベント実行委員会等	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： イベント実行委員会等】		
目的・目標		事業の概要	
商店街で交流事業を行うことにより人が集まり、商店街がにぎわっています。		市民とのふれあいを促進するため、商店会が行う交流事業や販売促進活動事業を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	補助対象事業数			単位	事業
	説明・算定式	補助対象となる商店街の交流事業や販売促進事業数				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	20	20	18	18	
	実績	15	16	17		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	商店街の交流事業や販売促進事業への参加店舗数			単位	店舗
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	250	250	280	280	
	実績	228	466	466		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
中心商店街や地域の商店街で開催される各種イベントや販売促進活動を支援し、中心商店街のにぎわいアップと地域商店街での市民とのふれあいを促進しました。また、イベント実行委員会と販売促進につながるように抽選会の賞品として参加店舗で使う商品券を取り入れる等事業内容の見直しを協議しました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中心商店街の活性化を図るために、イベント等の事業を実施する組織への支援は必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	イベント事業を継続し、中心商店街に賑わいと創出を図ることは有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心商店街の賑わいと創出を図るために、イベントの実施は妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	将来的には、中心街の活性化を図る組織が独自に事業を展開できるよう、市が支援していく必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 中心商店街で行われるイベントにより多くの来街者が訪れるよう、実行委員会で内容の充実を引き続き検討するとともに販売促進につながっているか効果を検証する必要があります。また地域商店街で行われる事業については、引き続き新たな実施団体の掘り起こしが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		商店街にぎわい創出事業への支援	商店街にぎわい創出事業への支援	商店街にぎわい創出事業への補助	商店街にぎわい創出事業への補助
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	8,381	28,783	4,818	8,044
事業費 (A)		8,381	28,783	4,818	8,044
執行率 (%)		99.07	98.07	78.98	
内訳	職員 (人)	0.75	0.80	1.10	1.15
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		6,195	6,484	8,817	9,141
フルコスト (A+B)		14,576	35,267	13,635	17,185

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 中心商店街のにぎわいと、地域商店街の活性化を促進するため、各種イベントや販売促進活動事業を行う団体を支援します。
課長コメント 商店街のにぎわいを促進するとともに個店の販売機会を増やすため、イベントや販売促進活動事業を通して今後も支援していきます。